



子どもに自由な遊び場を

山口 仁美 議員

問 子どもの体力の低下が大きな問題になってい... 乳幼児期から学童期までの外遊びについては特に重要とされる。プレイパーク(冒険遊び場)は全国に多く設置され、その効果についても多くの事例がある。最近では、東京昭島市の市立小学校内に設置された。本市の市民の中にも、プレイパークやそれに類する活動を行う団体が出てきている。子どもの健全発達のため、市として「プレイリーダーの養成」や「プレイパーク活動」に取り組んでいく考えはないか。

答 「子どもは遊ぶことで自ら育つ」という認識のもと、手作り遊具や自然素材を使い自由に遊ぶ



光華小の校庭プレイパークで遊具を作る子どもたち※東京都HPより

プレイパークは、子どもの居場所として、また子どもの想像力や身体の運動性を刺激することについて有意義だと考えている。プレイパーク活動の支援や、外遊び指導者プレイリーダーの養成は「子どもの居場所づくり指針」の目的を果たすひとつの手段であり、今後、調査・研究していく。



詳しくは「1111」で

募集 第48回 議員と語り合い



第46回議員と語り合いの様子(溝辺地区)

地域テーマ型

広報広聴常任委員会が設定したテーマで、意見交換を行います。

対象 市内に在住か通勤・通学する個人 **募集期限** 令和7年1月10日(金)
開催日・各地区テーマ **時間** 各日19時~20時30分

1/22 水	1/23 木	1/24 金
国分	溝辺	横川
どうする自治会 会場：市役所議会棟	どうする水資源 会場：溝辺総合支所	どうする駅周辺 会場：横川公民館
牧園・霧島	隼人	福山
どうする温泉資源 会場：高千穂地区公民館	どうする伝統・文化の継承 会場：隼人公民館	どうする福山のまち 会場：旧田中家別邸

自治会公募型

地域の課題や身近な問題など、各自治会が決めたテーマで意見交換を行います。

対象 市内の地区自治公民館や自治会
募集期限 令和6年12月17日(火)

開催日 1/22 水 ~ 1/24 金
時間 1時間30分程

問い合わせ、申込み 議会事務局

0995 64-0922 FAX 0995 64-0923
✉ gikai@city-kirishima.jp

状況によっては開催を中止する場合があります。

国分・隼人 地区
ゴミは宝の山 資源化を進めるために

- ・ゴミには売側の問題もある。シンプルなパッケージを推進できないか。
- ・リサイクルセンターに持ち込まれた後にどうなっているのかも伝えていくべきではないか。

溝辺 地区
空港周辺の将来ビジョン

- ・空港利用者が立ち寄れる商店街などがあればいい。溝辺で夜を過ごすような取組がほしい。
- ・交通の利便性をあげてほしい。

福山 地区
地域交通と定住対策

- ・ふれあいバスや民間バスの便数が少ない。デマンド交通への切り替えが必要なのではないか。
- ・公営住宅の維持管理費も管理にお金がかかっている。空き家も多い。公共施設の対策をすべき。

横川 地区
丸岡公園の改修計画と今後の活用

- ・既存のプールも有効活用できないか。
- ・日本一のゴーカート場になれば、集客もできるだろうから、いろいろなアイデアを出して地域の消費を広げ、活性化につなげたい。

牧園・霧島 地区
観光産業の充実と観光客の利便性の向上

- ・えびの高原に比べ、高千穂河原の駐車場は停められない。同じようなサービスを提供すべき。
- ・バスの運行時間がニーズに合っていない。キャッシュレスに対応してほしい。

永水地区自治公民館 (自治会公募型)
霧島永水に計画されている産業廃棄物最終処分場設置事業

- ・なし崩し的に事業が進むのが心配である。
- ・議員と議論しても安心材料にならない。議員も現場に行き、状況を確認してほしい。

報告

第46回

7月23日から26日に、「地域テーマ型」と「自治会公募型」で開催し、64名の参加がありました。ご意見を一部ご紹介いたします。



開催報告はこちら

一般質問・質疑力向上研修



一般質問研修の様子

一般質問とは、議員が、市の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを市長などの執行機関に直接質すことです。令和6年度、霧島市議会では、法政大学の土山希美枝教授をお招きし、「一般質問・質疑力の向上」研修を行っています。

土山希美枝教授プロフィール
法政大学法学部教授
北海道沼田町議会、別海町議会、芽室町議会、京都府舞鶴市議会の議会サポーター/アドバイザー

当日は、6名の議員が9月定例会で質問予定の一般質問について、議員全員参加で研修を行いました。

土山教授からは、

- ① 論点の具体化
- ② データによる強化
- ③ 専門的知見からのアドバイス

の3つの視点を中心に、他市議会の事例など、多岐にわたるアドバイスがありました。

一般質問は、議会の一員として機能を発揮する場で、個人の質問力や質疑力の向上は、議会の根幹とも言われます。より良い質問を通して、政策に反映できるよう取り組んでいきます。

議会の議員用タブレットが更新より、効率的・効果的な議会活動へ

霧島市議会SNS

議会のお知らせを公式Facebook・Instagramページに掲載しています。



約10年ぶりに、議会用のタブレットが更新され、あわせて、ペーパーレス会議や情報共有のシステムが導入されました。

現在の霧島市議会には、20代から80代までの議員が所属しており、電子機器を扱う知識や技術も違います。また、効率的で効果的な審査を重要とすることから、1年じっくり時間をかけて、議会運営委員会を中心に、より良い審査のあり方などを整理していきます。

広報広聴常任委員会では、オンラインを活用した市民参画のあり方も模索していく予定です。